

2023年5月16日

熊本製作所が二輪車生産累計 2000 万台を達成

Honda 熊本製作所（熊本県菊池郡大津町）での二輪車生産台数が、1976年1月に操業を開始して以来48年目で、累計2000万台を達成しました。



二輪車生産累計 2000 万台式典の様子



熊本製作所の外観



熊本製作所 二輪車生産ライン

熊本製作所は、50ccのコミューターから1800ccの大型モデルまで幅広く二輪車を生産しています。また二輪車だけでなくパワープロダクツ（マリナー製品含む）も含めた、国内唯一の生産拠点であり、海外での生産を支援するグローバルマザー工場としての役割も有しています。

操業当初は、アジアに向けた二輪コミューター輸出基地としての役割を担っており、当時は生産台数の9割を完成車輸出が占めていました。しかしながら、「需要のあるところで生産する」考え方のもと、コミューターモデルにおいては、海外へ生産移管を行っており、現在では、世界22か国23生産拠点のサポートをしています。また大型モデルにおいては、2008年に国内二輪生産を当時の浜松製作所（現トランスミッション製造部 静岡県浜松市）から熊本に移管、更に、北米・欧州からも大型モデル生産を熊本製作所に移管し、現在では世界唯一の大型モデルの生産拠点となり、全世界57か国へ輸出しています。

今後もHondaが「存在を期待される企業」であり続けるために、「カーボンニュートラル」「クリーンエネルギー」「リソースサーキュレーション」の3つを柱に、環境負荷ゼロの循環型社会の実現を目指しており、熊本製作所はその具体的な施策を先駆者として実行しています。

■本田技研工業株式会社 執行役常務 二輪・パワープロダクツ事業本部長 安部 典明のコメント

「熊本製作所 二輪車生産累計 2000 万台に際し、我々の活動を 47 年以上、共に支えて頂いた全ての方へ感謝申し上げます。Honda にとって二輪は祖業であり、かつ現在も重要な基幹事業です。これまで Honda の中でいち早く世界の国々へ進出し、多くの人の生活の可能性を広げてきました。これからは熊本製作所には『原点と先進』の取り組みを通じて、世界のお客様の『喜び』につなげることにチャレンジし続けて欲しいと思います」

■熊本製作所の変遷

- ・ 1975 年 熊本製作所完成
- ・ 1976 年 二輪車の完成車輸出基地として操業開始
- ・ 1991 年 鈴鹿製作所よりスーパーカブの生産を移管完了
- ・ 2008 年 大型二輪車の国内生産を浜松製作所より移管
- ・ 2022 年 細江船外機工場が熊本製作所へ加わる

■熊本製作所 二輪車生産累計 2,000 万台の軌跡

- ・ 1976 年 生産開始
- ・ 1980 年 生産累計台数 100 万台達成
- ・ 1987 年 生産累計台数 500 万台達成
- ・ 1994 年 生産累計台数 1000 万台達成
- ・ 2000 年 生産累計台数 1500 万台達成

【熊本製作所】

設 立：1976 年 1 月

所 在 地：熊本県菊池郡大津町

代 表 者：所長 島添 正規

事業内容：二輪車・パワープロダクツの生産およびサービス

生産機種：二輪車（45 機種）、パワープロダクツ（18 機種）、船外機（23 機種）